

※こちらの原稿は、小学生以下対象の課題です。

この枠で囲んでいる箇所がイラスト(さし絵)の課題場面です。

## 課題1

表紙

### ① 「求ハチ情報」

その日、仲間と一緒に住むおうちから初めて外に出た私は、掲示板にらめっこ。

② 大人になった私たちミツバチは、どこで働くか決めないといけないの。お花畑が第一希望なんだけど、求ハチに出てるかしら。あ、私は外に出たばかりの新米ミツバチ、アビーです。

③ どれどれ。ふむふむ。

「小学校の花壇・アカシアの木・ビルの屋上庭園・れんげの咲く小川のほとり・イチゴ畑……」  
結構、求ハチってあるのね。元気な子どもたちも大好きだけれど、甘酸っぱいおいで幸せな気持ちになれるから、イチゴ畑で働くことに決めた。ああ、楽しみ。仲間と離れてイチゴ畑の寮に入ることになるから、みんなに会えた時に報告できるように、私は日記を書くことにしたわ。

## 課題2

④ 三月八日

初めておしごとに行きました。私のおしごとはイチゴ畑で、イチゴの花の上を丸く一周歩くことです。白くて小さい花がたくさん咲いている、広い広い畑です。クマのベリー社長はとっても親切で、優しくったわ。明日もおしごと頑張るぞ。

⑤ 三月十八日

しごとには慣れてきたけれど、あまりに花が多すぎて、疲れてしまいました。三月だというのに寒いし、お部屋でゴロゴロしていたいな。  
ここだけの話、イチゴの花って、みつも花粉も少ないの。働いたのにお給料が少ないなんて、これはひどい会社だわ。今日は疲れていたし、花の上を歩くのも全部半周でやめちゃった。寒いし、おなかも空いたし、早くにお部屋に帰ろうっと。

⑥ 三月二十八日

ベリー社長にみんなでめっちゃ怒られました。たくさんのおしごとがでこぼこになっちゃったんだって。「イチゴの花の上は必ず一周してください」って皆さん注意されたよ。あ、原因は私かもしれない。でも、寒いし、おなかも空いてるし、頑張れそうにないんだよね。

⑦ 四月八日

この前、ベリー社長に怒られたことについて仲間たちと話していたら、みんなも空腹と寒さでサボリ気味だったことがわかったよ。それで、みんなで話し合っで、ベリー社長にお手紙を書くことにしたの。

「ベリー社長 イチゴの花だとおなががいっぱいになりません。それにわたしたちにとって会社は寒いのです。働くのがとてもつらいんです。」

ミツバチ一回

⑧ 四月十八日

ベリー社長が、みんなが働きやすくなるように、いろいろ考えてくれたそうです。そして私たちのために、「さとう水休憩所」と「ストーブ」を置いてくれました。おかげで私たちは絶好調。おなかもいっぱいだし、ポカポカと暖かいし、イチゴ畑は最高の会社になりました。

⑨ 四月二十八日

「私のイチゴと皆さんのはちみつを使って、何か一緒に作ってみませんか？」  
とベリー社長から提案がありました。  
はちみつにイチゴを入れて何日かみんなながめていたら、ほんのり赤くなりました。きれいな色の「イチゴはちみつ」は、大ヒット間違いなし。  
みんなには内緒で教えるけど、イチゴのはちみつはなんだよ。みかんやりんごはあるんだけどね。知ってた？

## 課題3

⑩ 春休みになり、アビーは里帰りをしました。

久しぶりに仲間に出会ったアビーは大喜び。みんなにイチゴ畑の話が聞かれました。

「イチゴの花は、みつも花粉も少ないけれども、お花の上を丸く丸く回ったら、宝石のようなイチゴができるの。責任重大だけど、とてもやりがいがあるおしごとだよ。みんなも自分にピッタリの素敵なおしごとを見つけてね」